

いっしょにあそぼう

真弓 結希

もりのなかに、くまさんといのししさんがいました。2ひきは、とてもなかよしでだいすきでした。いつも、もりのなかのはらっぱで、おいかけてっこをしてあそんでいました。

あるひ、いつものようにあそんでいると、もりのちかくのおやまから、こわいおおかみさんがやってきました。2ひきは、びっくりして、

「きゃー」

といてにげました。でも、おおかみさんはどんどんおいかけてきます。あしがはやいので、だんだんとちかづいてきました。そして、たべられそうとおもったら、

ガシャーン

と、おおきなおとがしました。びっくりしてうしろをむくと、おおかみさんが、きにぶつかってたおれていました。2ひきは、ちょっとあんしんしました。

2ひきは、にげようとおもいましたが、おおかみさんが、とてもいたそうにうなっていたので、しんぱいになりました。くまさんはおおかみさんに、

「だいじょうぶ？」

とききました。いのししさんは、

「いっしょに、びょういんにいこうか？」

といました。

そして、2ひきはおおかみさんをはこんで、もりにある、うさぎせんせいの『ぴよんぴよん びょういん』に、つれていきました。うさぎせんせいに、くすりをぬってもらい、まだすこしひりひりしますが、だんだんとげんきになってきました。おおかみさんは、くまさんといのししさんに、

「ありがとう。」

といました。そして、

「びっくりさせてごめんなさい。」

といました。

「ぼくも、いっしょにあそびたかったんだ。」

といました。くまさんといのししさんは、

「ぼくたちも、おおかみさんのおはなしをきかずに、にげてごめんなさい。」

といました。

そして、3ひきはなかよくなり、いっしょにおいかけてっこをして、あそびました。

みんなだいすきになりました。